まちづくりは人づくりから

リーダー　：白井敞子
副リーダー：村木博隆、長屋博久
江森正和、尾崎愛子、梶宏、髙桑鉄則、
野崎治子、森山祐輔、鷲見典暁

①　議題チーム　提言・行動計画一覧票

議題チーム名	**まちづくりは人づくりから**
メインテーマ	子育て文化の継承と創造

■議題概要

めざす姿	子育ての喜びを共有し、赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが安心して、心豊かに暮らせるまち・京都
現状の問題	○親になる人の五感を使う経験の不足 ○子どもが生まれたら自然に親になれるという社会の誤解 ○家庭の孤立化 ○親の子どもに対する過干渉と無関心 ○親としての社会的責任感の希薄化 ○失われた「子育て文化の継承」～人から人へ、世代から世代へ～
問題解決への主体的な係わり	親子で楽しい体験・経験ができる場、子育ての楽しさを見つける場、 親子・家族・地域で子育ての喜びを共有できる場として「ハッピー子育て塾」を設立する
解決する課題	親になる人に五感を使う力（生活するための基礎力）をつける これから子育てをする人、子育てをしている人に「子育て」を教える 人と人とのやり取りの大切さを教え、地域コミュニティを築く

■行動計画一覧＜各課題とその解決策、及びそれらの行動計画＞

	行動計画／提言	議題チームや 100 人委員会の役割	行動の主体ごとの役割	
課題	ハッピー子育て塾の設立	☆塾の企画、運営 ・プログラム・カリキュラム作成 ・塾長、スタッフ育成 ・モデルとなる地域探し ・情報の収集・研究・発信 ・行政との協働 ☆友人、知り合い、地域の人たちへの参加の呼び掛け ☆教える人探し	市民	☆学ぶ人として参加 これから親になる人、子育てをしている人、子どもたち ☆教える人として参加 子育て経験者、お爺ちゃん、お婆ちゃん、団塊の世代、昼間里親、保育士、地域育児支援士
			京都市	協働
		取組時期・スケジュール	必要経費	
		○平成 21 年 10 月～ 情報収集、人探し、場所探し、経費算出 ○平成 22 年 4 月～ モデル事業スタート 塾長、スタッフ育成 順次、京都市域で事業展開 全国で事業展開	未定	

②　それぞれの提言・行動計画

別紙のとおり

まわりを見てみると

◆社会では
　都市化、物質主義、核家族化、家庭の孤立化
◆地域では
　コミュニティ＝近所付き合いがなくなった
◆子育てでは
　子どもへの過保護、過干渉、無関心
　親としての責任感の希薄化
　子どもが生まれたら、そのまま親になれるという社会の誤解
◆遊びでは
　ままごとをしないので、人の真似ができない
　　料理を作る、食べさせる、赤ちゃんをあやす、
　　洗濯をたたむ、物を片付ける・・・

こんな影響が

人が暮らすためには
見る、聴く、触る、味わう、嗅ぐと五感すべてが必要
↓
五感を使った経験がない
↓
五感を使う力＝暮らすための「基礎力」が付いていない
↓
お米が研げない、包丁を使えない、食べさせられない、
布巾が絞れない、服をたためない、爪が切れない、
赤ちゃんの身体を拭けない、体温が測れない、
CMを見て赤ちゃんのオシッコは青いと思っている・・・

子育てにも影響が

赤ちゃんが、どうして泣いているのかわからない、あやせない
食事を作れない、食べさせられない
こぼした食べ物の始末ができない

そして社会にも影響が

基礎力のない人が子育てをすれば、
基礎力のない子どもが育ち、大人になり親になり、
基礎力のない人が増えていきます。
基礎力のない社会になってしまいます。

そこで「ハッピー子育て塾」を設立します

◆目的

☆五感を使う力＝暮らすための基礎力を養う

☆これから子育てをする人、
子育てをしている人に子育てを教える

☆人と人のつながりの大切さを学び、
地域コミュニティを築く

「ハッピー子育て塾」

◆基本理念

☆自由に、しなやかに、のびやかに基礎力を育む

☆飛んだり、跳ねたり、ふざけたり、突進したり、
立ち止まったりしながら、大きな優しさと優しさを支える
限りない強さを身に付ける

☆理屈を学ぶだけでなく、赤ちゃん育て、子育てを
体験することで、実際に役立つことを
身体で自然に覚える

「ハッピー子育て塾」

◆塾生
赤ちゃん、子ども、これから子育てをする人、
子育をてしている人、子育てを経験した人

◆スタッフ
塾長、昼間里親、保育士、地域育児支援士、カウンセラー、
メンター（生活支援者）、地域の人たちなど

◆活動場所
商店街の空き店舗、集会所、学校の教室、個人宅など

「ハッピー子育て塾」

◆活動内容
☆親子で楽しい体験、経験をする
☆子育ての楽しさを見つける
☆親子、家族、地域で子育ての喜びを共有する

◆最終目標
子育ての喜びを共有し、
赤ちゃんからお年寄りまで、
みんなが安心して、心豊かに暮らせるまち・京都

「ハッピー子育て塾」

◆課題

◇実践チーム

◎対象者、活動場所、活動内容の検討

◎子育て総合相談窓口（子育てポータルサイト）開設

◎塾長、スタッフの養成

◇企画・研究チーム

◎子育て情報の収集、分析、研究、発信

◎リスクマネジメント（事故、病気への対応など）

◎子育てプログラム、カリキュラムの研究、策定

◎効果測定

◎行政との協働

「ハッピー子育て塾」

◆行動計画

★21年10月～

情報収集・分析

塾長、スタッフ、活動場所探し

運営経費積算、調達

★22年4月

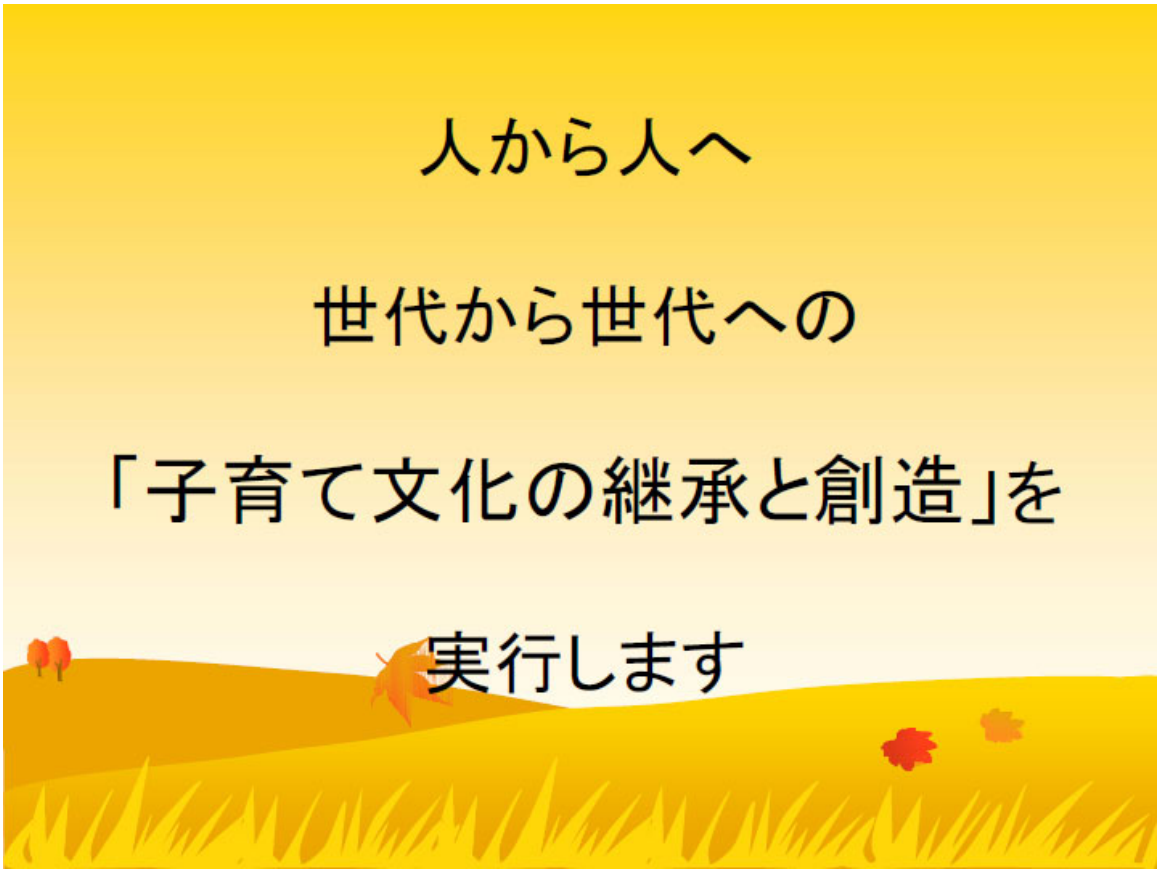
モデル事業スタート

塾長、スタッフ養成

★〇〇年～

順次、京都市域で開塾

全国で開塾


人から人へ
世代から世代への
「子育て文化の継承と創造」を
実行します